Vol.3

令和８年度

アイヌ語ラジオ講座

講師：早坂（はやさか）　駿（しゅん）

10月▸▸12月

STVラジオ

毎週日曜日　朝 7:00～7:15

https://www.stv.jp/radio/ainugo/

公益財団法人 アイヌ民族文化財団

はじめに

アイヌ語は、アイヌの人たちが話してきた独自の言語です。今でも、私たちが普段から身近に触れているアイヌ語として「地名」があります。アイヌ語が由来とされる地名は、北海道をはじめ、サハリン (樺太) や千島列島、それに東北地方にも数多く残されています。地名の他にも、「エトピリカ」「ラッコ」「トナカイ」など、アイヌ語として意識されずに使われている言葉が多くあります。

現在では、アイヌ語の話者は減少し、アイヌ語を日常会話の言語として使われることが少なく、知っている単語も会話の中に稀に聞かれるだけです。それでも先祖から伝えられてきた言葉を残していこうと、地域においてさまざまな活動が行われています。

この「アイヌ語ラジオ講座」では、初心者向けのやさしいアイヌ語の講座をラジオで放送しております。多くの方々がアイヌ語に触れるきっかけとして、また、初級のアイヌ語を学習する機会として、平成 10 年よりさまざまな講師をお招きして開講しております。

令和 8 年度の講師は、旭川市出身、早坂駿さんをお迎えして、アイヌ語の「旭川方言」を学んでいきます。

さあ、私たちと一緒に、アイヌ語の世界をのぞいてみませんか。

2026 年 4 月

「アイヌ語ラジオ講座」テキスト　Vol.3

目　次

テキストは 3 ヶ月ごとに発行しています。

講師・支援研究者の紹介 …… P. 2
講座のスケジュール …… P. 3
レッスン 27 ～ 39 …… P. 4
ポッドキャストのお知らせ …… P.30
賛助会員募集 …… P.33

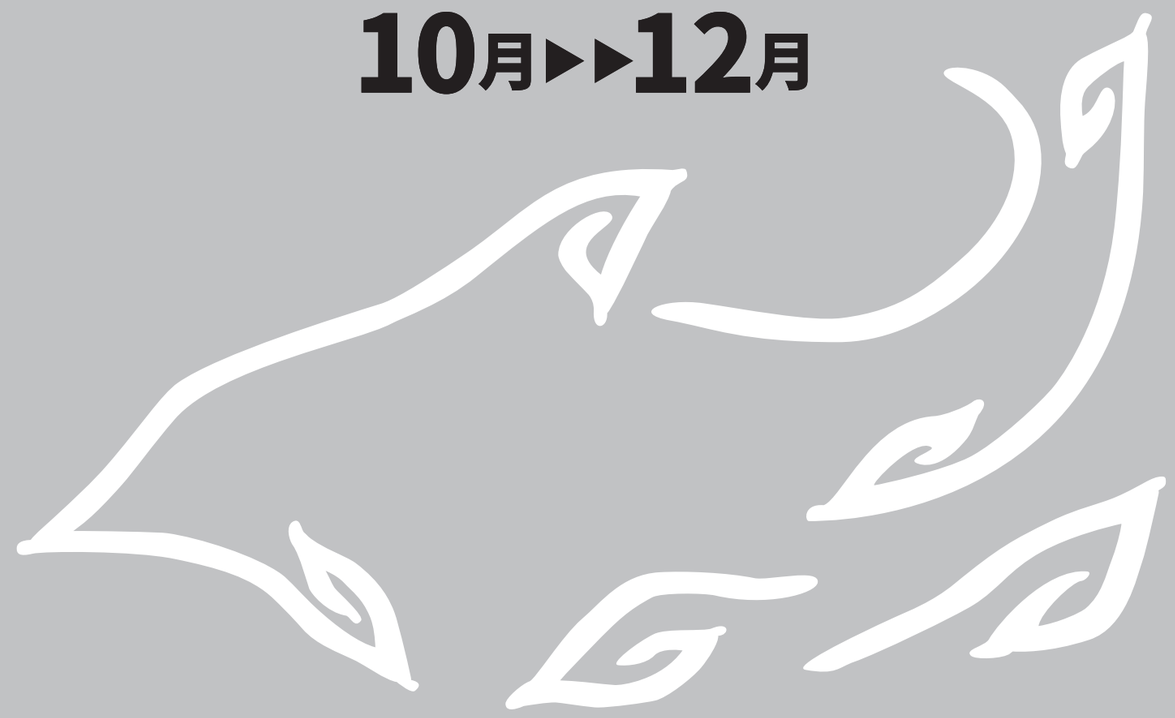
Vol.3

令和 8 年度

アイヌ語ラジオ講座

講師：早坂（はやさか）　駿（しゅん）

10月▸▸12月



STVラジオ

毎週日曜日　朝 7:00～7:15

https://www.stv.jp/radio/ainugo/

公益財団法人 アイヌ民族文化財団

講師・執筆者紹介

早坂　駿（はやさか しゅん）

旭川市出身。
アイヌ文化交流センター（サッポロピリカコタン）での勤務を経て、アイヌ民族文化財団の「伝承者育成事業」「アイヌ語指導者育成事業」を修了。
現在は同財団の職員として活動している。

支援研究者

中川　裕（なかがわ ひろし）　千葉大学名誉教授

このテキストのアイヌ語と表記の仕方について

現在のところアイヌ語には共通的な表現はあるものの、それぞれの地域での言い方があります。そのため、このテキストでは担当講師の方言（旭川方言）でのアイヌ語をご紹介しています。

スケジュール

月	日	LESSON	テーマ	ページ
10月	4日	27	文と文をつなぐ表現(1)	4
	11日	28	文と文をつなぐ表現(2)	6
	18日	29	名詞や文と後ろの動作をつなぐ表現	8
	25日	30	10月のまとめ	10
11月	1日	31	助動詞(1) ～したい、～だろう、～したことがある、～したことがない	12
	8日	32	助動詞(2) ～し終える、すでに～した、～することができる、～することができない	14
	15日	33	お前が私に、お前たちが私たちに	16
	22日	34	私がお前に、私がお前たちに	18
	29日	35	11月のまとめ	20
12月	6日	36	疑問詞を用いた表現(1) なに、なぜ、どのように	22
	13日	37	疑問詞を用いた表現(2) どこで、どこへ、どこから	24
	20日	38	疑問詞を用いた表現(3) いつ、どれ、だれ	26
	27日	39	12月のまとめ	28

10/4㊐放送

LESSON 27 文と文をつなぐ表現(1)

1. ku=sinki kusu sini=an rok!
クシンキ　クス　シニアン　ロク！
私は疲れたから休みましょう！

2. ruyanpe as korka ku=soyne.
ルヤンペ　アシ　コロカ　クソイネ。
雨が降っているけれど私は外に出る。

3. ku=mokor kor ku=cinita.
クモコロ　コロ　クチニタ。
私は眠ると夢を見る。

4. húci itak ciki nu yan.
フチ　イタク　チキ　ヌ　ヤン。
おばあさんが話したら聞きなさい。

今日の単語

ku=	ク	人称接辞	私が
sinki	シンキ	自動詞	疲れる
kusu	クス	接続助詞	～から、～ので
sini	シニ	自動詞	休む
=an	アン	人称接辞	（聞き手を含む）私たちが
rok	ロク	終助詞	～しましょう
ruyanpe	ルヤンペ	名詞	雨
as	アシ	自動詞	降る
korka	コロカ	接続助詞	～けれど
soyne	ソイネ	自動詞	外に出る
mokor	モコロ	自動詞	眠る
kor	コロ	接続助詞	～と
cinita	チニタ	自動詞	夢を見る
húci	フチ	名詞	おばあさん
itak	イタク	自動詞	話す
ciki	チキ	接続助詞	～したら
nu	ヌ	他動詞	～を聞く
yan	ヤン	終助詞	～なさい

今回は「～したので○○した」や「～したけれど○○した」のように文章をつなげる表現を覚えていきましょう。

接続助詞

「好きなので買う」「怖いけど行く」の「なので」「けど」のように前の文章と後ろの文章をつなぐ役割を持つ単語のことを「接続助詞」と言います。

kusu は「～から（ので）○○する」のように、理由、原因などを表現するときに使います。作文するときには例文①「sinki kusu sini（疲れたから休む）」のように kusu の前に理由や原因（疲れた）を置き、kusu の後ろにその結果や行動（休む）を置きます。

korka は「～けれど○○する」のように、予想とは反対の結果になるときに使います。作文するときには、例文②「ruyanpe as korka soyne（雨が降っているけれど外に出る）」のように、korka の前に起こったこと（雨が降った）を置き、korka の後ろにその結果や行動（外に出る）を置きます。

kor は「～すると○○する」のように、「そうすると、いつもこうなる」という関係を表すときに使います。作文するときには例文③「mokor kor cinita（眠ると夢を見る）」のように、kor の前に行動（眠る）を置き、kor の後ろに結果や行動（夢を見る）を置きます。

ciki は「～したら○○しろ」のように「これから起こることのあとに命令やお願いをする」ときに使います。作文するときには例文④「itak ciki nu（話したら聞け）」のように、ciki の前にこれから起こること（話す）を置き、ciki の後ろに命令やお願い（聞け）を置きます。

練習問題

以下の文をアイヌ語にしてみましょう。

1. 雨が降るので帰りましょう。	ヒント：hosippa	帰る（複数形）
2. 雪が降ったけれど私は外に出る。	ヒント：upas as	雪が降る
3. 私は休むと元気になる。	ヒント：tótek	元気になる
4. 雷が鳴ったら休みなさい。	ヒント：kamuyhum as	雷が鳴る

コラム

まりも祭り

今のアイヌにとって、一大イベントの一つで、阿寒湖温泉で 10 月 8 日～ 10 日に行われます。「まりも祭り」は昭和 25 年より、国の特別天然記念物「阿寒湖のマリモ」を保護し湖へ還すことから始まりました。
（引用：阿寒湖アイヌコタン https://www.akanainu.jp/）

全国各地からたくさんのアイヌが集まり、儀礼や舞踊、たいまつ行進などを行います。各地の芸能や着物などを一度にみられる機会はなかなかないので興味がある方はぜひ行ってみてください（私もおそらく行きます）。

10/11㊐放送

LESSON 28 文と文をつなぐ表現(2)

1 acapo mokor híne ipe híne hosipi.
アチャポ　モコロ　イネ　イペ　イネ　オシピ。
おじさんが眠って食事して帰った。

2 unarpe kampisos kor wa ek.
ウナラペ　カンピソシ　コロ　ワ　エク。
おばさんが本を持って来る。

3 ékas mina kor an.
エカシ　ミナ　コロ　アン。
おじいさんが笑っている。

4 hekaci mína kor hoyupu.
エカチ　ミナ　コロ　オユプ。
子どもが笑いながら走る。

今日の単語

acapo	アチャポ	名詞	おじさん
mokor	モコロ	自動詞	眠る
(h)íne	イネ（ヒネ）	接続助詞	～して
ipe	イペ	自動詞	食事する
(h)osipi	オシピ（ホシピ）	自動詞	帰る
unarpe	ウナラペ	名詞	おばさん
kampisos	カンピソシ	名詞	本
kor	コロ	他動詞	～を持つ
wa	ワ	接続助詞	～して
ek	エク	自動詞	来る
ékas	エカシ	名詞	おじいさん
mína	ミナ	自動詞	笑う
kor	コロ	接続助詞	～ながら
an	アン	自動詞	ある、いる
(h)ekaci	エカチ（ヘカチ）	名詞	子ども
(h)oyupu	オユプ（ホユプ）	自動詞	走る

前回に引き続き、文と文をつなぐ役割を持つ単語、接続助詞を使った表現と音の変化について覚えていきましょう。

音の変化

例文の híne ＝イネ、hosipi ＝オシピ、hekaci ＝エカチ、hoyupu ＝オユプは、ローマ字とカタカナで音が異なっています。石狩方言では単語の先頭に来る h は音が消えることがあるため、このように表記しています。詳しい法則はわかっていないため、本講座では今回を除き、基本的には h の音を含めた発音をします。

～して○○する

híne、wa、kor を使った例文を紹介しましたが、例文①②③は接続助詞の訳がすべて「～して」のようになっています。それぞれ使い分け方がありますので、順番に紹介していきます。

híne　出来事を順番に並べる「～して」
wa　前後の行動につながりがある「～して」
kor　複数の行動を同時に行う「～して」

híne は出来事を時間の流れに沿って話すときに使います。例文①の「mokor（眠る）」「ipe（食事する）」「hosipi（帰る）」という行動はそれぞれが独立して行われていて前後で関係がありません。イメージとしては、「朝起きて、顔を洗って、仕事に行って」のように起こった出来事を順番に話すときの「～して」です。

wa は híne と同じように出来事を時間の流れに沿って話すときにも使いますが、前の行動と後ろの行動が一連の流れで行われる場合にも使います。例文②のように「おばさんが本を持って来る」というと、自分のところなどにおばさんが本を持って来ることを想像したかと思います。このように、「持つ」と「来る」は本来別の行動ですが、「持って来る」というと、その動作は一連の流れで行うもので切り離すことはできません。もし、これを「kampisos kor híne ek」とすると、「おばさんが本を手に入れて、（そのことを報告しに本を持たずに）来た」という場合もありえることになりますので、一連の流れを表す wa の活用法とは異なります。

～しながら○○する

kor は前の文と後ろの文の行動を同時にしているときに使います。例文④の「mína kor hoyupu（笑いながら走る）」のように kor は「～しながら○○する」というときに使います。ただし、「～しながら」と訳すよりも、例文③の「mína kor an（笑っている）」のように「～して」と訳す方が日本語として自然になる場合もあります。前回紹介した「～すると」の意味の kor とは別の表現です。

コラム

シケレペ

キハダやシコロという木の実のことをシケレペと言います。実は枝の先に房になってついており、一粒は 1㎝にも満たない大きさです。採取するときは、非常に背の高い木なので、先が二股になった棒を使い、実のなっている枝を挟んでひねり、折って枝ごと落とします。黒く熟した実の味は、苦みと若干の甘味、ピリッとした刺激とさわやかな香りが広がります。ラタシケプというかぼちゃや豆などを入れて作る伝統料理に入れて食べます。

10/18㊐放送

LESSON 29 名詞や文と後ろの動作をつなぐ表現

1. sirawoy ekota ku=oman.
シラウォイ　エコタ　クオマン。
白老に私は行く。

2. mékot akkari seta ku=eramasu.
メコッ　アッカリ　セタ　クエラマス。
私は猫より犬が好き。

3. marek ani ku=ona cepkoyki.
マレク　アニ　クオナ　チェプコイキ。
鉤銛を使って私の父が魚を獲る。

4. “mokor yan” sekor ku=itak.
「モコロ　ヤン」　セコロ　クイタク。
「眠りなさい」と私は言った。

今日の単語

sirawoy	シラウォイ	名詞	白老
ekota	エコタ	後置副詞	～へ
ku=	ク	人称接辞	私が
oman	オマン	自動詞	行く
mékot	メコッ	名詞	猫
akkari	アッカリ	後置副詞	～より
seta	セタ	名詞	犬
eramasu	エラマス	他動詞	～を好き
marek	マレク	名詞	鉤銛
ani	アニ	後置副詞	～で
ona	オナ	名詞	父
cepkoyki	チェプコイキ	自動詞	魚を獲る
mokor	モコロ	自動詞	眠る
yan	ヤン	終助詞	～なさい
sekor	セコロ	後置副詞	～と
itak	イタク	自動詞	言う

今回は「～より○○」「～を使って○○する」などのように、前にある名詞や文と、後ろの動作をつなぐ役割を持つ単語「後置副詞」を覚えていきましょう。すでにLesson17（位置を表す名詞と場所と動詞をつなぐ言葉の表現）で「ekota（～へ）」という後置副詞に触れましたが、そのほかの後置副詞についても紹介します。

後置副詞の使い方

ekotaを使った表現を復習しましょう。ekotaは例文①「sirawoy ekota oman（白老に行く）」のようにekotaの前に場所を置き、そこへ向かって後ろの動作をするときに使います。

akkariは例文②の「mékot akkari seta eramasu（猫より犬が好き）」のようにakkariの前のものと後ろのものを比較するときに使います。

aniは例文③の「marek ani cepkoyki（鉤銛で魚を獲る）」のようにaniの前に道具や手段を置き、それを使って後ろの動作をするときに使います。

sekorは「～が○○と言う」や「～は○○と思う」のような文で使い、日本語でいう「と」にあたります。例文④ではitak（話す）という動詞を使っていますが、yaynu（思う）を使って「sekor ku=yaynu」とすると「～と私は思う」と表現することができます。

応用

sekorはセリフや考えていることを表現する他に「sekor an pe」「sekor an=ye p」などと表現することで「～というもの」と表現することができます。また、aniの前に来る言葉は道具とは限らないので「sísam itak ani（日本語で）」のように使うことができます。これを組み合わせて「sísam itak ani 携帯電話 sekor an=ye p」と言うと「日本語で携帯電話というもの」と表現できますので、アイヌ語で表すことが難しいときに便利です。

an=はこれまで「（聞き手を含む）私たちが」を表すと覚えてきましたが、「一般に人が」というときにも使います。またyeの前では音が代わり、「アンイェ」ではなく、「アイェ」と発音します。

練習問題

以下の文をアイヌ語にしてみましょう。※～と○○のところには好きな単語を入れてください。

1. 「～へ行く」
2. 「～より○○が好き」
3. 「～で○○を叩く」　ヒント　kik　キク　～を叩く
4. 「私は～を食べたいと思う」　ヒント　e rusuy　エ　ルスイ　～を食べたい

コラム

マレク

マレクは鉤銛と訳される道具で、川に遡上してきたサケを獲るために使います。マレクは、鉤と銛の性質を兼ね備えた道具で、①フック状の金属でできた銛先、②フックをはめ込む木製の台木、③柄の3つの部品からできています。フック状の銛先は、獲物を突いたときに刺さるよう、先端を前方に向けた状態で台木にはめ込まれています。しかし、獲物に刺さるとフックが台木から外れ、獲物をひっかけたままぶら下げる仕組みになっています。そのため、獲物を川から引き上げる際にも抜け落ちにくくなっています。

10/25㊐放送

LESSON 30 10月のまとめ

10 月は接続助詞と後置副詞を使った表現を紹介しました。
後置副詞や接続助詞を使うと、言葉と言葉をつなげたり、文に詳しい情報を付け加えたりすることができ、表現の幅が広がるのでしっかり覚えていきましょう。

- 前の文章と後ろの文章をつなぐ役割を持つ単語のことを「接続助詞」と言います。

① kusu「～から(ので)○○する」のように、理由、原因などを表現するときに使います。
例：ku=hoyupu kusu ku=sinki.　クホユプ　クス　クシンキ。
私は走ったので疲れた。

② korka「～けれど○○する」のように、予想とは反対の結果になるときに使います。
例：ku=sinki korka ku=hoyupu.　クシンキ　コロカ　クホユプ。
私は疲れたけれど走る。

③ kor「～すると○○する」のように、「そうすると、いつもこうなる」という関係を表すときに使います。
例：ku=hoyupu kor wakka ku=ku. クホユプ　コロ　ワッカ　ククゥ。
私は走ると水を飲む

④ ciki「～したら○○しろ」のように「これから起こること、そのあとに命令やお願いをするときに使います。
例：e=sinki ciki sini !　エシンキ　チキ　シニ！　疲れたら休め！

⑤ híne「～して○○する」のように出来事を時間の流れに沿って話すときに使います。
例：ku=hoyupu híne wakka ku=ku híne ku=hosipi.　クホユプ　ヒネ　ワッカクク　ヒネ　クホシピ　私は走って、水を飲んで、帰った。

⑥ wa híne と同様の使い方と、前の行動と後ろの行動が一連の流れで行われる場合にも使います。
例：ku=hok wa ku=hosipi.　クホッ　ワ　クホシピ。　私は買って帰る。

⑦ kor「～しながら○○する」のように前の文と後ろの文の行動を同時にしているときに使います。「～すると○○する」の kor とは別の表現です。
例：ku=hoyupu kor ku=mina.　クホユプ　コロ　クミナ。
私は走りながら笑う。

- 音の変化
石狩方言では単語の先頭に来る h の音が消えることがあります。詳しい法則はわかっていないため、本講座では、基本的には h の音を含めた発音をします。

例）híne	ヒネ	íne	イネ	～して
hoyupu	ホユプ	oyupu	オユプ	～が走る
hosipi	ホシピ	osipi	オシピ	～が帰る

- 前にある名詞や文と後ろの動作をつなぐ役割を持つ単語のことを「後置副詞」といいます。

① ekota　ekota の前に場所を置き、そこへ向かって後ろの動作をするときに使います。
例：sirawoy ekota ku=oman.　シラウォイ　エコタ　クオマン。
私は白老に行く。

② akkari　akkari の前のものと後ろのものを比較するときに使います。
例：mékot akkari seta ku=eramasu.　メコッ　アッカリ　セタ　クエラマス。
私は猫より犬が好き。

③ ani　ani の前に道具や手段を置き、それを使って後ろの動作をするときに使います。
例：makiri ani ku=tuye.　マキリ　アニ　クトゥイェ。　私は小刀で切る。

④ sekor「～が○○と言う」や「～は○○と思う」のような文で使い、日本語でいう「と」にあたります。
例：“ku=sini”sekor ku=itak.「クシニ」　セコロ　クイタク。　「私は休む」と言った。

sekor と ani を組み合わせた表現

「sekor an pe」「sekor an=ye p」などの表現で「～というもの」と表現することができます。また、ani は「sísam itak ani (日本語で)」のように使うことができます。「sísam itak ani 携帯電話 sekor an=ye p」と言うと「日本語で携帯電話というもの」と表現できますので、アイヌ語で表すことが難しいときに便利です。

一般に人が

an= はこれまで「(聞き手を含む) 私たちが」を表すと覚えてきましたが、「一般に人が」というときにも使います。また ye の前では音が代わり、「アンイェ」ではなく、「アイェ」と発音します。

LESSON 31

11/1㊐放送

助動詞(1)　～したい、～だろう、～したことがある、～したことがない

1. utarano hosippa=an rusuy.
ウトゥラノ　ホシッパアン　ルスイ。
一緒に帰りたい。

2. nissata sirpirka nankor.
ニサッタ　シリピリカ　ナンコロ。
明日晴れるだろう。

3. toankur ku=nukar amkir.
トアンクル　クヌカラ　アムキリ。
私はあの人を見たことがある。

4. tanpe ku=e erameskare.
タンペ　クエ　エラメシカレ。
私はこれを食べたことがない。

今日の単語

uturano	ウトゥラノ	副詞	一緒に
hosippa	ホシッパ	自動詞	帰る（複数形）
=an	アン	人称接辞	（聞き手を含む）私たちが
rusuy	ルスイ	助動詞	～したい
nisatta	ニサッタ	副詞	明日
sirpirka	シリピリカ	完全動詞	天気がいい
nankor	ナンコロ	助動詞	～だろう
toankur	トアンクル	名詞	あの人
ku=	ク	人称接辞	私が
nukar	ヌカラ	他動詞	～を見る
amkir	アムキリ	助動詞	～したことがある
tanpe	タンペ	名詞	これ
e	エ	他動詞	～を食べる
erameskare	エラメシカレ	助動詞	～したことがない

助動詞を使った表現

今回は動詞の後ろに付けて、「～したい」「～だろう」のような意味を付け加える言葉「助動詞」を紹介します。

- rusuy　～したい

動詞の後ろに rusuy を置くことで「～したい」という表現ができます。例文①では hosippa（帰る）の後ろに rusuy を置くことで「hosippa rusuy（帰りたい）」という表現をしています。「帰りたい」ではなく「食べたい」「行きたい」などと表現したいときには、rusuy の前の動詞を変えます。

- nankor　～だろう

動詞の後ろに nankor を置くことで、「～だろう」という表現ができます。例文②では、sirpirka（天気がいい）の後ろに nankor を置いて、「sirpirka nankor（晴れるだろう）」と表現しています。

- amkir　～したことがある

動詞の後ろに amkir を置くことで、「～したことがある」という経験を表すことができます。例文③では、nukar（～を見る）の後ろに amkir を置いて、「nukar amkir（見たことがある）」と表現しています。

- erameskare　～したことがない

動詞の後ろに erameskare を置くことで、「～したことがない」という、経験がないことを表すことができます。例文④では、e（～を食べる）の後ろに erameskare を置いて、「e erameskare（食べたことがない）」と表現しています。

練習問題

以下の文をアイヌ語にしてみましょう。※～のところには好きな単語を入れてください。

1. 「私は～したい」
2. 「あの人は～するだろう」
3. 「～を食べたことがある」
4. 「～を見たことがない」

コラム

エラメシカレ

テキストでは「～したことがない」をエラメシカレと紹介しましたが、この言葉は地域によって形が違います。石狩方言でもエラムシカレという表現もあり、沙流方言などではエラミシカリといいます。どれもほぼ同じなのに微妙に違うというのが余計に混乱します。

11/8㈰放送

LESSON 32 助動詞(2)　～し終える、すでに～した、～することができる、～することができない

1. ku=monrayke okere.
   クモンライケ　オケレ。
   私は仕事し終えた。

2. e=ipe nisa?
   エイペ　ニサ？
   お前はご飯すませた？

3. ku=karku pirkano ma easkay.
   クカラク　ピリカノ　マ　エアシカイ。
   私の甥っ子は上手に泳ぐことができる。

4. yuk anak kam e eaykap.
   ユク　アナク　カム　エ　エアイカプ。
   鹿は肉を食べることができない。

今日の単語

ku=	ク	人称接辞	私が
monrayke	モンライケ	自動詞	仕事する
okere	オケレ	助動詞	(最後まで)～し終える
e=	エ	人称接辞	お前が
ipe	イペ	自動詞	食事する
nisa	ニサ	助動詞	(すでに)～した
karku	カラク	名詞	甥っ子
pirkano	ピリカノ	副詞	上手に
ma	マ	自動詞	泳ぐ
easkay	エアシカイ	助動詞	～することができる
yuk	ユク	名詞	鹿
anak	アナク	副助詞	～は
kam	カム	名詞	肉
e	エ	他動詞	～を食べる
eaykap	エアイカプ	助動詞	～することができない

前回に引き続き、助動詞を使った表現を覚えていきましょう。今回は、次の４つの助動詞を紹介します。

助動詞を使った表現

- okere　～し終える
  動詞の後ろに okere を置くことで、「最後まで～し終える」という表現ができます。例文①では、monrayke（仕事をする）の後ろに okere を置いて、「monrayke okere（仕事をし終える)」と表現しています。

- nisa　すでに～した
  okere は動作を最後まで行い、やり終えることを表していることに対し、nisa は動作や出来事がすでに起こり、完了したことを表すときに使います。動詞の後ろに nisa を置くことで、「すでに～した」という表現ができます。例文②では、ipe（食事する）の後ろに nisa を置いて、「ipe nisa（食事をすませた)」と表現しています。

- easkay　～することができる
  動詞の後ろに easkay を置くことで、「～することができる」という表現ができます。例文③では、ma（泳ぐ）の後ろに easkay を置いて、「ma easkay（泳ぐことができる)」と表現しています。

- eaykap　～することができない
  動詞の後ろに eaykap を置くことで、「～することができない」という表現ができます。例文④では、e（～を食べる）の後ろに eaykap を置いて、「e eaykap（食べることができない)」と表現しています。

～することができないを表すそのほかの表現

「～することができない」という表現にはいくつか種類があります。eaykap は能力的にすることができない（下手である）と言うときに使います。また、広い意味で「～することができない」を表します。

- koyaykus ～したくてもすることができない
  ku=unu ku=oyra koyaykus. 母を忘れることができない。
- nukuri（年を取って、体調が悪くて、疲れてなどの理由で）～をすることができない
  ku=omkekar kusu ku=oman nukuri. 風邪をひいてしまったので行くことができない。

-no を使った表現

自動詞の後ろに no を付けることで、動作や状態についてその様子や程度を表す副詞を作ることができます。例えば例文③で使っている pirkano（上手に）は、pirka（良い）に no が付いた形です。pon（小さい）に no を付けて「ponno（少し)」、poro（大きい）に no を付けて「poronno（たくさん)」という表現になります。

練習問題

以下の文をアイヌ語にしてみましょう。
※「～」のところには好きな単語を入れてください。

1. 「私は～をし終えた」
2. 「私は～をすでに食べた」
3. 「私は～ができる」
4. 「私は～を食べることができない」

コラム

エイペ　ニサ？

いつも講座の始まりに「トテクノ　エソカイ　ルウェ？（お元気ですか？)」と挨拶をしていますが、これは古くから使っていた表現ではありません。当時、旭川で開催されたアイヌ語教室の中で気軽に使える挨拶の言葉がないため、話し合いをして決まったと聞いています。しかし、本当はその時集まった人たちにとって一番なじみがあったのは「エイペ　ニサ？（ご飯食べたか？)」だったそうです。これはかつての暮らしの中ではこのような言葉をかけ合い、食事がまだなら、とりあえず何か食べさせるというところから来ているとのことです。アイヌ語ラジオ講座の先輩（平成 27 年度講師）であり、同じ職場であり、親戚である中井貴規さんは今でもこの言葉をメールなどで使っています。また、現在ではこの言葉を使う人は少なくても、私の経験上、親しいアイヌを訪ねた時にはご飯食べたかと声を掛けてくれる人が多いと感じます。このような精神は今でも残っているんだろうなと温かい気持ちになります。

11/15㊐放送

LESSON 33 お前が私に、お前たちが私たちに

1. ikor e=en=kore.
イコロ　エエンコレ。
お前が私にお金をくれた。

2. es=en=hunara sekor ku=inu.
エシエンフナラ　セコロ　クイヌ。
お前たちが私を探していたと聞いた。

3. e=un=tere.
エウンテレ。
お前が私たちを待つ。

4. es=un=tak korka es=isam.
エシウンタク　コロカ　エシイサム。
あなたたちが私たちを呼んだのに、あなたたちはいなかった。

今日の単語

ikor	イコロ	名詞	お金
e=	エ	人称接辞	お前が
en=	エン	人称接辞	私を（に）
kóre	コレ	複他動詞	～を～に与える
es=	エシ	人称接辞	お前たちが、あなたが、あなたたちが
hunara	フナラ	他動詞	～を探す
sekor	セコロ	後置副詞	～と
ku=	ク	人称接辞	私が
inu	イヌ	自動詞	聞く
un=	ウン	人称接辞	私たちを（に）
tére	テレ	他動詞	～を待つ
tak	タク	他動詞	～を呼ぶ
korka	コロカ	接続助詞	～けれど
isam	イサム	自動詞	いない

これまで紹介してきた人称接辞は「ku=（私が）」や「=an（私たちが）」などのように動詞の前や後ろに一つだけつけることで表現してきましたが、今回は二つの人称接辞を組み合わせて使う表現を覚えていきましょう。

例文①の「e=en=kore」では、e= が「お前が」、en= が「私に」を表しているので、「お前が私にくれた」という意味になります。kóre の部分をほかの動詞に変えることで、さまざまな表現を作ることができます。
また、「es=（お前たちが）」や「un=（私たちに）」を含めて、人称接辞の組み合わせを変えることで、次のように「誰が誰に（を）○○する」を表すことができます。

e=en= ○○　→お前が私に（を）○○する
es=en= ○○　→お前たちが私に（を）○○する
e=un= ○○　→お前が私たちに（を）○○する
es=un= ○○　→お前たちが私たちに（を）○○する

ただし、es= には「お前たちが」以外に「あなたが」「あなたたちが」という意味があるため、どの意味になるかは文脈から判断します。
また、この表現は「お前が私を（に）○○する」のように、主語と目的語を表すものなので、自動詞に使うことはできません。

注意点（命令文）

今回覚えた表現を使って「お金をください」という文を作ろうとすると、「ikor e=en=kore yan」と言いたくなるかもしれません。しかし、命令文では主語を表す人称接辞を付けません。そのため、「お前が」を表す e= は付けず、「ikor en=kore yan（お金をください）」と表現します。

練習問題

以下の文をアイヌ語にしてみましょう。

1. お前が私を呼んだ
2. お前たちが私を見る　ヒント：nukar ～を見る
3. お前が私たちを叱る　ヒント：koyki ～を叱る
4. お前たちが私たちを手伝う　ヒント：kasuy ～を手伝う

コラム

コタンノミ

春と秋には大きなお祭りを開き、村の人たちの健康を祈り、自然の恵みが豊かであるようにと願います。ウポポイでも毎年この儀礼をおこなっており、今年は 5 月に春のコタンノミ、11 月に秋のコタンノミを行っています。2026 年の時点では、非公開で実施しています。

11/22㊐放送

LESSON 34 私がお前に、私がお前たちに

1 tanpe e=kore=an na.
タンペ　エコレアン　ナ。
これを私がお前にあげるよ。

2 rimse=as siri e=nukare=as rusuy.
リムセアシ　シリ　エヌカレアシ　ルスイ。
私たちが踊る様子をお前に見せたい。

3 es=pakasnu=an kusu eraman!
エシパカシヌアン　クス　エラマン！
私がお前たちに教えるから覚えろ！

4 es=rura=as kusune na.
エシルラアシ　クスネ　ナ。
私たちがお前たちを送るよ。

今日の単語

tanpe	タンペ	代名詞	これ
e==an	エ、アン	人称接辞	私がお前に
na	ナ	終助詞	～よ
rimse	リムセ	自動詞	踊る
=as	アシ	人称接辞	（聞き手を含まない）私たちが
siri	シリ	形式名詞	～の様子
e==as	エ、アシ	人称接辞	私たちがお前に
nukare	ヌカレ	複他動詞	～を～に見せる
rusuy	ルスイ	助動詞	～したい
es==an	エシ、アン	人称接辞	私がお前たちに
pákasnu	パカシヌ	他動詞	～に教える
kusu	クス	接続助詞	～ので
eraman	エラマン	他動詞	～を覚える
es==as	エシ、アシ	人称接辞	私たちがお前たちに
rúra	ルラ	他動詞	～を送る
kusune	クスネ	助動詞	～するつもり（予定）である

今回も「私がお前に」や「私がお前たちに」などの２つの人称接辞を組み合わせた表現を紹介します。

人称接辞の組み合わせ

これまでに覚えた人称接辞をそのまま組み合わせると、「私がお前に」は「私が」を表す ku= と「お前に」を表す e= を使うように思うかもしれません。しかし、「私がお前に○○する」と表現するときには、例文①「e=kore=an（私がお前にあげる）」のように、e= と =an を動詞に付けます。

同じように、「私たちがお前に○○する」と表現するときには「e= ○○ =as」、「私がお前たちに○○する」ときには「es= ○○ =an」、「私たちがお前たちに○○する」ときには「es= ○○ =as」を使います。

e= ○○ =an　私がお前に（を）○○する
e= ○○ =as　私たちがお前に（を）○○する
es= ○○ =an　私がお前たちに（を）○○する
es= ○○ =as　私たちがお前たちに（を）○○する

覚え方としては、このような組み合わせに限って、「私が」は =an、「私たちが」は =as、「お前に（を）」は e=、「お前たちに（を）」は es= と考えると分かりやすいです。

練習問題

以下の文をアイヌ語にしてみましょう。

1. 私がお前に教える。
2. 私たちがお前を見つける。　ヒント　pa ～を見つける
3. 私がお前たちを起こす。　ヒント　mososo ～を起こす
4. 私たちがお前たちにうそをつく。　ヒント　kosunke ～にうそをつく

コラム

人称接辞

アイヌ語と一口に言っても、地域によって方言の違いがあることはこれまでもお話ししてきました。一説には、北海道内のアイヌ語の違いは、日本語でいう東京方言と大阪方言ほど大きくはないともいわれています。しかし、今回勉強した「私がお前に」のような人称接辞の形には、地域によって違いが見られます。そのため、ほかの地域のアイヌ語に触れたときには、人称接辞の使い方を知らないと読み解くのが難しいです。

11/29㈰ 放送

LESSON 35 11月のまとめ

今月は助動詞と２つの人称接辞を組みあわせた表現を紹介しました。まとめて振り返りましょう。

- 助動詞は動詞の後ろに置くことで「～したい」「～だろう」のように動詞に新しい意味を付け加えることができます。例えば「遊びたい」といいたいときには「sinot（遊ぶ)」の後ろに「rusuy（～したい)」を置いて「sinot rusuy」といいます。

- いろいろな助動詞

① rusuy　ルスイ　～したい
例：kam ku=e rusuy.　カム　クエ　ルスイ。　私は肉を食べたい。

② nankor　ナンコロ　～だろう
例：kam ku=e nankor.　カム　クエ　ナンコロ。　私は肉を食べるだろう。

③ amkir　アムキリ　～したことがある
例：kam ku=e amkir.　カム　クエ　アムキリ。　私は肉を食べたことがある。

④ erameskare　エラメシカレ　～したことがない
例：kam ku=e erameskare.　カム　クエ　エラメシカレ。
私は肉を食べたことがない。

⑤ okere　オケレ　～し終える
例：kam ku=e okere.　カム　クエ　オケレ。　私は肉を食べ終えた。

⑥ nisa　ニサ　すでに～した
例：kam ku=e nisa.　カム　クエ　ニサ。　私は肉をすでに食べた。

⑦ easkay　エアシカイ　～することができる
例：kam ku=e easkay.　カム　クエ　エアシカイ。
私は肉を食べることができる。

⑧ eaykap　エアイカプ　～することができない
例：kam ku=e eaykap.　カム　クエ　エアイカプ。
私は肉を食べることができない。

- 自動詞の後ろに no を付けることで、動作や状態にその様子や程度などを加える副詞を作ることができます。
例：pirka　良い　→　pirkano　よく
pon　小さい　→　ponno　少し
poro　大きい　→　poronno　たくさん

- 「お前が私に」や「お前たちが私たちに」の表現をするときは２つの人称接辞を組み合わせます。例えば「お前が私にくれる」というときには、「e=（お前が)」、「en=（私に)」を組み合わせ「kóre（～を与える)」の前につけて「e=en=kore」といいます。kóre の部分をほかの動詞に変えることで、さまざまな表現を作ることができます。
　また、「es=（お前たちが)」や「un=（私たちに)」を含めて、人称接辞の組み合わせを変えることで、次のように「誰が誰に（を）○○する」を表すことができます。

e=en= ○○　→お前が私に（を）○○する
例：e=en=kore.　エエンコレ。　お前が私にくれる。

es=en= ○○　→お前たちが私に（を）○○する
例：es=en=kore.　エシエンコレ。　お前たちが私にくれる。

e=un= ○○　→お前が私たちに（を）○○する
例：e=un=kore.　エウンコレ。　お前が私たちにくれる。

es=un= ○○　→お前たちが私たちに（を）○○する
例：es=un=kore.　エシウンコレ。　お前たちが私たちにくれる。

- ただし、es= には「お前たちが」以外に「あなたが」「あなたたちが」という意味があるため、どの意味になるかは文脈から判断します。

- 命令文の場合は主語を表す人称接辞はつけません。
例：お金をください
× ikor e=en=kore yan.　イコロ　エエンコレ　ヤン。
○ ikor en=kore yan.　イコロ　エンコレ　ヤン。

- 「私がお前に」や「私たちがお前たちに」の表現をするときは２つの人称接辞を組み合わせます。例えば「私がお前にあげる」というときには e= と =an を動詞に付けて「e=kore=an」といいます。
　また「es=」と「=as」を含めて、人称接辞の組み合わせを変えることで、次のように「誰が誰に（を）○○する」を表すことができます。

e= ○○ =an　→私がお前に（を）○○する
例：e=kore=an.　エコレアン。　私があなたにあげる。

e= ○○ =as　→私たちがお前に（を）○○する
例：e=kore=as.　エコレアシ。　私たちがあなたにあげる。

es= ○○ =an　→私がお前たちに（を）○○する
例：es=kore=an.　エシコレアン。　私があなたたちにあげる。

es= ○○ =as　→私たちがお前たちに（を）○○する
例：es=kore=as.　エシコレアシ。　私たちがあなたたちにあげる。

覚え方としては、このような組み合わせに限って、「私が」は =an、「私たちが」は =as、「お前に（を)」は e=、「お前たちに（を)」は es= と考えると分かりやすいです。

12/6㊐放送

LESSON 36 疑問詞を用いた表現(1) なに、なぜ、どのように

1 A:núman nep e=ki?
ヌマン　ネプ　エキ？
B:ku=kor tokuy tura ku=sinot wa.
クコッ　トクイ　トゥラ　クシノッ　ワ。

昨日何した？
友達と遊んだよ。

2 A:nepkusu ekota e=oman ya?
ネプクス　エコタ　エオマン　ヤ？
B:ku=sinot kusu ku=oman wa.
クシノッ　クス　クオマン　ワ。

なんでそこに行った？
私は遊ぶために行ったよ。

3 A:aynu itak ani nékon an=ye?
アイヌ　イタク　アニ　ネコン　アイェ？
B:tanpe satcep sekor an=ye p ne.
タンペ　サッチェプ　セコロ　アイェ　プ　ネ。

アイヌ語でどのように言うの？
これは干し鮭だよ。

今日の単語

núman	ヌマン	副詞	昨日
nep	ネプ	疑問詞	なに
e=	エ	人称接辞	お前が
ki	キ	他動詞	～する
ku=	ク	人称接辞	私が
kor	コロ	他動詞	～を持つ：(所有の表現のとき)～の○○
tokuy	トクイ	名詞	友達
tura	トゥラ	後置副詞	と一緒に
sinot	シノッ	自動詞	遊ぶ
wa	ワ	終助詞	～よ
nepkusu	ネプクス	疑問詞	なぜ
ekota	エコタ	後置副詞	～へ
oman	オマン	自動詞	行く
ya	ヤ	終助詞	～か
sinot	シノッ	自動詞	遊ぶ
kusu	クス	接続助詞	ので
aynu	アイヌ	名詞	アイヌ
itak	イタク	自動詞	話す
ani	アニ	後置副詞	～で
nékon	ネコン	疑問詞	どのように
an=	アン	人称接辞	一般に人が
ye	イェ	他動詞	～に言う
tanpe	タンペ	代名詞	これ
satcep	サッチェプ	名詞	干し鮭
sekor	セコロ	後置副詞	～と
p	プ	形式名詞	もの
ne	ネ	他動詞	～である

Lesson7 で疑問文を紹介しましたが、これまでほとんどの疑問文は「これはペンですか？」のように「はい」「いいえ」で答えることができるものでした。今回は具体的な答えを要求するような疑問文を覚えていきましょう。

疑問詞とは

具体的な答えを要求する疑問文を作るときには「なに」や「なぜ」といった「疑問詞」という単語を使って作文をします。英語の授業で扱う 5W1H のようなものというと想像しやすいかもしれません。

nep「なに」

nep は「なに」と言う意味があり、「なにをした？」のように言いたいときに使います。「お前はなにをした？」と表現する場合には、まず「なに」を表す「nep」、次に「お前が」を表す「e=」、そして「～する」を表す「ki」を順番に並べて「nep e=ki?」と言います。

nepkusu「なぜ」

nepkusu は「なぜ」という意味があり、「なぜ行くの？」のように言いたいときに使います。「なぜ行くの？」と表現する場合には、まず「なぜ」を表す「nepkusu」、次に「お前が」を表す「e=」、そして「行く」を表す「oman」を順番に並べて「nepkusu e=oman?」といいます。

nékon「どのように」

nékon は「どのように」という意味があり、「どのように言うの？（どう呼ぶの？）」のように言いたいときに使います。「どのように言うの？」と表現したい場合には、まず「どのように」を表す「nékon」、次に「一般に人が」を表す「an=」、そして「～と言う」を表す「ye」を順番に並べて「nékon an=ye?」といいます。ただし、「an=」は「ye」の前では音が変わってアとなるため、ネコン　アイェ？と言います。

練習

例文①～③の A の質問に返答してみましょう。
○○のところには、好きな言葉を入れてください。

① 例：núman ku= ○○ .　ヌマン　ク○○。　昨日私は○○した。

② 例：○○ kusu ku=oman eaykap.　○○　クス　クオマン　エアイカプ。
○○ので行くことができなかった。

③ tanpe ○○ sekor an=ye p ne.　タンペ　○○　セコロ　アイェ　プ　ネ。
これは○○というものです。

コラム

サッチェプ

ウポポイでは、12 月中頃からサッチェプ作りを行います。サケに塩味を付けたあと、まずは 2 ～ 3 か月ほど寒干しにします。その後、チセ（家）の中に入れ、さらに 2 ～ 3 か月ほどかけて燻製にします。

燻製にしている間はサケの状態を見ながら仕上がりを確かめ、ちょうど良い具合になったところで、おいしい状態を保つために冷凍します。味付けはとてもシンプルながら、「sonno keraan（本当においしい）」です。

ウポポイでは、大きなイベントの際にサッチェプを試食として提供することもあります。今年は 8 月 13 ～ 16 日「ウポポイ　夏の祭り」の特別プログラム内で配布しました。食べてみたい方は、サッチェプを味わえる機会がないか、ぜひチェックしてみてくださいね。

12/13㊐放送

LESSON 37 疑問詞を用いた表現(2) どこで、どこへ、どこから

1. ney ta nintoci e=nukar ya?
   ネイ　タ　ニントチ　エヌカラ　ヤ？
   どこで水にすむ化け物を見たんだ？

2. téwano ney ne es=paye ya?
   テワノ　ネイ　ネ　エシパイェ　ヤ？
   これからお前たちはどこへ行く？

3. tan seta ney wa ek?
   タン　セタ　ネイ　ワ　エク？
   この犬はどこから来た？

4. ney ta ka ku=kor seta somo e=nukar ya?
   ネイ　タ　カ　クコロ　セタ　ソモ　エヌカラ　ヤ?
   どこかで私の犬を見なかった？

今日の単語

ney	ネイ	疑問詞	どこ	tan	タン	連体詞	この
ta	タ	格助詞	～で、～に	seta	セタ	名詞	犬
nintoci	ニントチ	名詞	水にすむ化け物	wa	ワ	格助詞	～から
e=	エ	人称接辞	お前が	ek	エク	自動詞	来る
nukar	ヌカラ	他動詞	～を見る	ka	カ	副助詞	（疑問詞と組み合わせて）～か
ya	ヤ	終助詞	～か	ku=	ク	人称接辞	私が
téwano	テワノ	副詞	今から	kor	コロ	他動詞	～を持つ：（所有の表現のとき）～の○○
ne	ネ	格助詞	～へ	somo	ソモ	副詞	否定を表す
es=	エシ	人称接辞	お前たちが				
paye	パイェ	自動詞	行く（複数形）				

先週に引き続き疑問詞を用いた表現を覚えていきましょう。

ney は「どこ」という意味を表す疑問詞です。ney の後ろに「ta（～で）」「ne（～へ）」「wa（～から）」などの格助詞（Lesson17 参照）を置くことで、「どこで」「どこへ」「どこから」のように、表現することができます。※ ne（～へ）は初出ですが、Lesson17 で紹介している ene（～へ）と近い使い方をします。

ney ta「どこで」

「ney（どこ）」の後ろに「ta（～で（に））」を置くと、「どこで、どこに」という意味になります。「どこで見た？」と表現する場合には、まず「どこで」を表す「ney ta」、次にお前がを表す「e=」、そして「～を見る」を表す nukar を順番に並べて「ney ta e=nukar?」と言います。

ney ne「どこへ」

「ney（どこ）」の後ろに「ne（～へ）」を置くと、「どこへ」という意味になります。「どこへ行く？」と表現する場合には、まず「どこへ」を表す「ney ne」、次に「お前たちが」を表す「es=」、そして「行く」を表す「paye」を順番に並べて「ney ne es=paye?」と言います。

ney wa「どこから」

「ney（どこ）」の後ろに「wa（～から）」を置くと、「どこから」という意味になります。「どこからこの犬は来た？」と表現する場合には、まず「この犬」を表す「tan seta」、次に「どこから」を表す「ney wa」、そして「来る」を表す「ek」を順番に並べて「tan seta ney wa ek?」と言います。

疑問詞と ka を使った表現

「ney ta ka」のように疑問詞と ka を組み合わせると「どこかで」という表現ができます。例文④「どこかで犬を見なかったか？」と言いたいときには「ney（どこ）ta（で）ka（か）seta（犬）e=nukar（お前が見た）ya（か）?」と言います。「ney wa ka」と言えば「どこかから」、「ney ne ka」と言えば「どこかへ」という表現ができます。

また、前回紹介した「nep（なに）」と組み合わせると「なにか」と言うことができ、「nep ka e=kor rusuy pe isam ya?（なにか欲しいものないか？）」のように表現することができます。

このように、疑問詞と「ka」を組み合わせることで、「なにか」「どこか」のように、はっきりと決まっていないものや場所を表すことができます。

練習

例文①～④に返答してみましょう。

○○のところには、好きな言葉を入れてください。

①・④○○ otta ku=nukar wa.	○○	オッタ　クヌカラ　ワ。	○○で見たよ。
②○○ ekota ku=oman wa.	○○	エコタ　クオマン　ワ。	私は○○へ行くよ。
③○○ or wa ku=ek wa.	○○	オロ　ワ　クエク　ワ。	○○から来たよ。

コラム

ニントチ

ニントチは川に棲む化け物です。物語が伝承されているので一つ紹介します。主人公の男性が父の友人のいる村に肉を届けに行くことになります。その日は舟に肉を積んで準備だけして、ひとまず寝たのですが、不思議な夢を見ます。父の友人の一人娘が川で寝ているとそこに舟が向かっていくという夢でした。不思議に思いながらも父の友人のいる村まで肉を届けに行くと、何やら騒がしいので事情を聴いてみたところ、父の友人の一人娘が水汲みに行って帰って来てからひどい腹痛で死にかけているということでした。そのうち一人娘からはニントチが生まれてきてしまったので主人公が退治し、女性は無事に回復したという話があります。このニントチは河童とも訳されることがあり、別名はエケラシネ　エカチ（頭のくぼんだ子ども）やエケイラシネ　エカチ（頭に毛がない子ども）といいます。頭が皿のようになっていて、身長が低くて、水の中にすんでいると考えると確かに見た目や特徴は河童のようなものなんだなと思いますが、悪さの仕方が尻子玉を抜いたり、家畜を水の中に引き込んだりする私が想像する河童とはまた違った怖さがあるニントチでした。

12/20㊐放送

LESSON 38 疑問詞を用いた表現（3）いつ、どれ、だれ

1 hempar upas as ya?
ヘンパラ　ウパシ　アシ　ヤ？
いつ雪降った？

2 nean pe e=eramasu ya?
ネアン　ペ　エエラマス　ヤ？
どれが好き？

3 tanpe nen kor pe ne ya?
タンペ　ネン　コロ　ペ　ネ　ヤ？
これは誰のもの？

今日の単語

hempar	ヘンパラ	疑問詞	いつ
upas	ウパシ	名詞	雪
as	アシ	自動詞	降る
ya	ヤ	終助詞	～か
nean	ネアン	疑問詞	どの
pe	ペ	形式名詞	もの
e=	エ	人称接辞	お前が
eramasu	エラマス	他動詞	～を好き
tanpe	タンペ	代名詞	これ
nen	ネン	疑問詞	誰
kor	コロ	他動詞	～を持つ：（所有の表現のとき）～の○○
ne	ネ	他動詞	～である

先週に引き続き疑問詞を用いた表現を覚えていきましょう。

hempar「いつ」

hempar は「いつ」という意味があり、「いつ行くの？」や「いつ雪が降った？」のように言いたいときに使います。「いつ雪が降った？」と表現する場合には、まず「いつ」を表す「hempar」、次に「雪」を表す「upas」、そして「降る」を表す「as」を順番に並べて「hempar upas as?」といいます。

nean「どの」

nean は「どの」という意味があり、「どれが好き？」のように言いたいときに使います。「どれが好き？」と表現する場合には、まず「どの」を表す「nean」と「もの」を表す「pe」を組み合わせて「nean pe（どのもの（どれ））」とします。次に「お前が」を表す「e=」、そして「～を好き」を表す「eramasu」を並べて「nean pe e=eramasu?」といいます。

nen「誰」

nen は「誰」という意味があり、「あの人は誰？」や「これは誰のもの？」のように言いたいときに使います。「これは誰のもの？」と表現する場合には、まず「これ」を表す「tanpe」、次に「誰」を表す「nen」、所有の表現の「kor」、「もの」を表わす pe、「～です」を表す「ne」を順番に並べて「tanpe nen kor pe ne?」といいます。

時間を表す表現

一部はこれまでに例文で紹介してきましたが、まとめて紹介します。
これらの単語を使う時には、「tanto ku=oman（今日、私は行く）」、「tokam cep ku=e（昼に魚を食べる」のように使います。

tanto	タント	今日
núman	ヌマン	昨日
nisatta	ニサッタ	明日
kunnano	クンナノ	朝
tókam	トカム	昼
kunne	クンネ	夜

練習

例文①～③に返答してみましょう。
○○のところには、好きな言葉を入れてください。

①○○ upas as.	○○　ウパシ　アシ。	○○、雪が降った。
②○○ ku=eramasu.	○○　クエラマス。	○○が好き。
③ tanpe ○○ kor pe ne.	タンペ　○○　コロ　ペ　ネ。	これは○○のものです。

コラム

雪にまつわる表現

今回の例文で雪が降ることを upas as と紹介していますが、雪が積もっていることは upas poro、とけることは upas ru や upas nin といいます。また、北海道教育委員会が出している『昭和 57 年度　アイヌ民俗文化財調査報告書』では雪の状態を表す表現が紹介されており、たとえば、新雪について「カンジキを履いても膝まで埋まった」とか、雪がしまることについて「雪がかたくなればカンジキを履いて歩ける」ということをアイヌ語で紹介されています。こうした雪の状態は、移動や狩りができるかどうかにも大きく関わります。そのため、雪の状態を細かく捉えることはとても重要であり、それが雪にまつわる豊かな表現として残されているのだろうと想像します。

12/27㊐放送

LESSON 39 12月のまとめ

今月は、3回にわたって「疑問詞」を紹介してきました。ここで、これまでに覚えた疑問詞をまとめて振り返ってみましょう。

- 具体的な答えを要求する疑問文を作るときには、「なに」や「なぜ」といった「疑問詞」という単語を使って作文をします。英語の授業で扱う5W1Hのようなものというと想像しやすいかもしれません。

- nep「なに」
  「なにをした？」のように言いたいときに使います。
  例：nep e=ki?　ネプ　エキ　何をした？

- nepkusu「なぜ」
  「なぜ行くの？」のように言いたいときに使います。
  例：nepkusu e=oman?　ネプクス　エオマン？　なぜ行くの？

- nékon「どのように」
  「どのように言うの？（どう呼ぶの？）」のように言いたいときに使います。
  例：nekon an=ye?　ネコン　アイェ？　どう呼ぶの？

- ney「どこ」
  neyは「どこ」という意味を表す疑問詞です。neyの後ろに「ta（〜で）」「ne（〜へ）」「wa（〜から）」などの格助詞（Lesson17参照）を置くことで、「どこで」「どこへ」「どこから」のように、表現することができます。
  例：ney ta e=nukar?　ネイ　タ　エヌカラ？　どこで見たの？
  ney ne e=oman?　ネイ　ネ　エオマン？　どこへ行くの？
  ney wa e=ek?　ネイ　ワ　エエク？　どこから来たの？

- hempar「いつ」
  「いつ行くの？」のように言いたいときに使います。
  hempar e=oman?　ヘンパラ　エオマン？　いつ行くの？

- nean「どの」
  「どれが好き？」のように言いたいときに使います。
  例：nean pe e=eramasu?　ネアン　ペ　エエラマス？　どれが好き？

- nen「誰」
  「これは誰のもの？」のように言いたいときに使います。
  例：tanpe nen kor pe ne?　タンペ　ネン　コロ　ペ　ネ？　これは誰のもの？

- an=はこれまで「(聞き手を含む）私たちが」を表すと覚えてきましたが、「一般に人が」というときにも使います。
  aynu itak ani seta sekor an=ye p ne.　アイヌ　イタク　アニ　セタ　セコロ　アイェ　プ　ネ。　アイヌ語で犬というものです。

時間を表す表現

一部はこれまでに例文で紹介してきましたが、まとめて紹介します。

これらの単語を使う時には、「tanto ku=oman（今日、私は行く）」、「tókam cep ku=e（昼に魚を食べる」のように使います。

tanto	タント	今日
núman	ヌマン	昨日
nisatta	ニサッタ	明日
kunnano	クンナノ	朝
tókam	トカム	昼
kunne	クンネ	夜

MEMO

アイヌ語ラジオ講座　ポッドキャスト

■アイヌ語ラジオ講座では、これまで放送してきた音声とテキストをダウンロードして、いつでもどこでも気軽にお楽しみいただけます。

ダウンロードはこちら⬇
https://www.stv.jp/radio/ainugo/index.html

テキストはこちらからもダウンロードできます⬇
https://www.ff-ainu.or.jp/web/potal_site/radio.html

【注意事項】

■平成 10 年度～平成 11 年度 Vol.1-3 の音声は公開されておりません。何卒ご了承ください。
■当テキストデータ及び音声データについて、他のウェブサイトにアップロードする等の利用行為及び営利目的に関わるすべての行為はお控えください。
■著作権等に関する法令に遵守し、適切な範囲での利用をお願いします。

アイヌ語ラジオ講座　ウェブアンケート

■アイヌ語ラジオ講座は、初心者向けのアイヌ語やアイヌ文化にまつわるお話等を放送しております。この講座のあり方や放送内容などを検討していくにあたり、皆さまのご意見やご感想をお寄せください。なお、いただいたご意見は番組制作の参考以外に利用しません。

アンケートはこちらから⬇
https://www.ff-ainu.or.jp/web/potal_site/details/web.html

■「アイヌ語ラジオ講座 CD 等の貸出」及び「郵送アンケート」の実施について令和 5 年 3 月 31 日を持ちまして終了しました。引き続き上記ポッドキャストやウェブアンケートを実施してまいりますので、今後とも何卒宜しくお願い申し上げます。

アイヌ民族文化財団　アイヌ語関連事業

■公益財団法人アイヌ民族文化財団は、アイヌ語やアイヌ文化の振興を図る事業、アイヌの伝統等に関する普及啓発事業等を実施しています。

アイヌ語に関するコンテンツ

アイヌ語動画講座

多くの皆さんに「楽しみながらアイヌ語を学んでいただきたい」「もっとアイヌ文化のことを知ってもらいたい」というコンセプトのもと、初心者向けのアイヌ語講座を動画で配信しています。

オルシペ・スウォプ

アイヌの口承文芸（お話など）の語り（アイヌ語と日本語訳）及び字幕（アイヌ語、日本語訳、多言語訳）をつけたアニメーション映像を公開しています。

アイヌ語弁論大会　イタカンロー

アイヌ語を学ぶ方々の成果発表の場であるとともに、ご来場いただいた方々を含め、「みなさんでアイヌ語を楽しみましょう」というコンセプトの大会です。大会の様子をおさめた動画が、アイヌ語ポータルサイト内にてご覧いただけます。

アイヌ語ポータルサイト

上記を含むさまざまなアイヌ語に関するコンテンツをまとめたサイトがあります。

詳しくはこちら⬇
https://www.ff-ainu.or.jp/web/potal_site/index.html

会員募集のお知らせ

『賛助会員』を募集しています。

当財団は国及び北海道からの財政的な支援をいただいておりますが、法律の趣旨を踏まえ多様な事業を展開していくためには運営基盤の確立が重要であります。

このため、地元北海道はもとより、全国の個人、団体や企業の方々から、幅広くご支援をいただくことが大切であると考えております。つきましては、このような趣旨をご理解の上、賛助会員としてご入会くださいますようお願い申し上げます。

年会費

■法人・団体／一口２万円 ■個人／一口５千円　※各一口以上です。

会員の特典

■財団が発行する刊行物、会報等の無料配布
（民族共生象徴空間運営事業の刊行物等は含まれません。）
■財団が主催する展示会、講演会等の行事の案内
■アイヌ文化に関する行事、イベント等の情報の提供等
■民族共生象徴空間入場優待券

入会方法

①銀行振込または郵便振替にて会費のお支払いをご希望の方は、事前に入会申込手続きが必要です。ホームページから入会申込書をダウンロードしていただき、必要事項をご記入の上、郵送、FAX、E-mail のいずれかの方法でお申し込みください。
②クレジットカード決済をご希望の方は、ホームページ上で決済と入会申込手続きができます。

詳しくはホームページをご覧ください。
https://www.ff-ainu.or.jp/web/overview/details/post_9.html

会費の使途

■アイヌ文化に関する書籍、写真、ビデオ等のライブラリーの整備など自主事業の充実のために充てられます。

令和８年度「アイヌ語ラジオ講座」テキスト　Vol.3

発行年月　令和８年９月
編集・発行　公益財団法人アイヌ民族文化財団

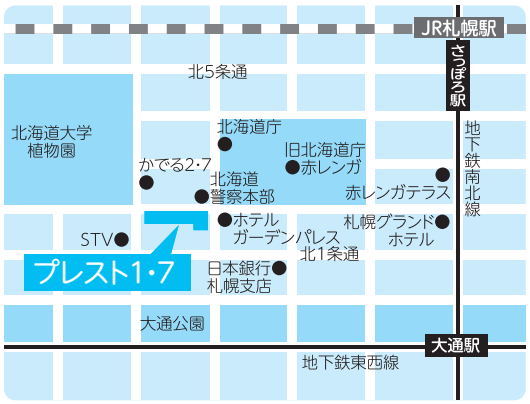
公益財団法人アイヌ民族文化財団とは

当財団は、アイヌ文化の振興、アイヌの伝統等に関する知識の普及及び啓発を図るための施策の推進のほか、民族共生象徴空間（愛称:ウポポイ）の運営を行っています。

多様な価値観が共生し、アイヌの人びとの民族としての誇りが尊重される共生社会の実現を図り、あわせて我が国の多様な文化の一層の発展に寄与するため、国内外においてさまざまな事業を実施しています。

公益財団法人アイヌ文化財団

〒060-0001
北海道札幌市中央区北1条西7丁目
プレスト1・7(5階)
TEL. (011) 271-4171
FAX. (011) 271-4181
e-mail:ainu@ff-ainu.or.jp
URL https://www.ff-ainu.or.jp



アイヌ文化交流センター

〒111-0041
東京都台東区元浅草3丁目7-1
住友不動産上野御徒町ビル3階
TEL. (03)5830-7547
FAX.(03)5830-7548
e-mail:acc-tokyo@ff-ainu.or.jp

［非売品］　転売禁止